

2010年6月10日

# 定時社員総会議案

## 議事内容

- I 2009年度事業報告
- II 第1号議案 2009年度決算承認の件
- III 第2号議案 2010年度予算承認の件
- IV 第3号議案 役員選任の件
- V 第4号議案 定款変更承認の件
- VI 第5号議案 電磁総会承認の件

2010年6月24日

一般社団法人 J B I A

## I 2009年度事業報告

### 1. はじめに

世界経済は2008年に発生した金融危機を契機に、成長著しい新興市場とマイナス成長となった成熟市場の二極分化が鮮明になるなど、グローバル化、フラット化の急速な進展が、産業構造をも大きく変化させています。景気は持ち直しつつあると言われながら、次々と起こる経済不安定要因によりわが国の企業の経営環境は相変わらず厳しい状況にあります。それゆえ、企業のリストラや破綻に伴う失業率の悪化など、個人を取り巻く環境も厳しく、まさに、日本経済は閉塞感の真只中にあると言えます。

そのような中で、わが国各地で独自にIM養成研修が開始されるなど、ビジネス・インキュベーション手法による地域の産業創造活動が本格化し、インキュベーション・マネジャーの役割は日増しに高まりつつあります。このような時代要請のもとに2009年度は事業を実施しました。

### 2. 2009年度の活動内容

一般社団法人JBIA設立初年に当たり、設立目的である柔軟且つ機動的な活動をする年と計画し、以下の事業を実施しました。

#### 1) 日本ビジネス・インキュベーション協会目的事業・業務

- (1) 会員入退会事務業務・会費徴収業務
- (2) IM認定、BI認定の実施に伴う申請受理、審査、認定証発行、費用処理業務
- (3) シンポジウム企画、実行に係る全業務
- (4) 人材育成事業協力
  - (財) 日本立地センター主催 IM養成研修、BI計画・運営研修
- (5) 日本ビジネス・インキュベーション協会（任意団体）運営会議業務
- (6) 研修主催団体と社団共同名義による地域人材育成事業または協力
  - ① (財) 沖縄県産業振興公社主催 沖縄県 IM養成研修
  - ② 南相馬市主催 まちなか中核人材育成講座
- (7) 広報業務
  - ① JBIAの事業紹介
  - ② ウェブサイトによる全国BI/IM活動の広報
- (8) コンサルティング業務
  - ① 民営BIの設立に関するノウハウ供与
  - ② 戦略的提携業務；日本秘書センター協会と相互協力
- (9) 認定制度改訂

2) 日本ビジネス・インキュベーション協会会員状況 (2010年5月末日現在)

IM 個人会員	139 名
個人協賛会員	3 名
BI 団体会員	23 機関・企業 (登録 IM 29 名)
団体協賛会員	1 社

3) 役職員異動

- ① 豊泉光男理事辞任 (一身上の都合による) 但し、後任理事選任まで就任継続。
- ② 松井浩一事務局長就任。

**3. 日本ビジネス・インキュベーション協会 (任意団体) と統合**

当初は、目的とする事業の迅速且つ機動的な運営への改善を目指し、一般社団法人 JBIA を設立し、任意団体の業務を受託することで出発した。これにより目的とする事業遂行の基盤が出来たので、次は BI の更なる普及と IM の社会的地位向上のため、公益活動を社会的信用のある法人名で行うため、一般社団法人 JBIA と日本ビジネス・インキュベーション協会を統合した。

統合にあたり、両団体に本提案を諮り 2010 年 3 月に承認を得た。これに伴い、新年度 (2010 年度) からは目的とする公益事業を一般社団法人 JBIA 名で実施することとなった。

## Ⅱ 第1号議案 2009年度決算承認の件

一般社団法人JBIAは2009年6月10日に発足し、今期10か月弱の運営による決算状況は下記のとおりである。2009年度は、任意団体の受託事業として事務局体制構築と会員維持、認定事業の遂行に専念したため、本来的、積極的な活動については控えめな実績となっている。また、法人としての会計は会計事務所の税理士に委託し決算業務を実施した。

### 2009年度決算

収入の部		金額(円)	支出の部		金額(円)
事業受託費		1,000,000	事務局費		509,607
研修受注費		189,000	広報宣伝費		160,000
シンポジウム		175,000	受託事業経費		518,520
利息		142	社団設立費用		167,605
			諸税		54,127
			次期繰越(負債)		-45,717
合計		1,364,142	合計		1,364,142

貸借対照表、損益計算書、監査報告書については別紙付属資料参照をご覧ください。

### Ⅲ 第2号議案 2010年度予算承認の件

2010年度は、会員増加に伴う会費収入増加と昨年の実績、経験ならびに日本ビジネス・インキュベーション協会（任意団体）の余資を活用し、徐々に本格的協会活動に移行する初年として下記の予算案を策定した。しかし、未だに専属の事務局員を雇用するには不十分であり、所要業務は外注する考え方で対処する。

#### 2010年度予算

収入の部		金額(円)	支出の部		金額(円)
前期繰越		-45,717	事務局費		600,000
会費収入		2,500,000	広報宣伝費		380,000
認定事業収入		165,000	事業費		1,485,000
研修事業収入		200,000	認定事業		
繰越前受金		300,000	国内活動		
			シンポジウム		
			研修経費		
			事業雑費		
			その他		660,000
			海外交流費		
			人件費		
			会計委託費		
			租税公課		
			次期繰越		-5,717
合計		3,119,283	合計		3,119,283

通常会計以外に任意団体の余資を寄付により資産に繰り入れ特別な用途に活用する。

#### 資産(特別会計)

収入の部		金額(円)	支出の部		金額(円)
任意団体JBIA寄付		2,711,253	ブロック活動支援		270,000
			公益社団申請費		170,000
			次期繰越		2,271,253
合計		2,711,253	合計		2,711,253

#### IV 第3号議案 役員選任の件

理事会設置社団として3名以上の理事定数が必要なので辞任理事の補充を行う。これに加え次期計画の公益社団に移行すると、理事会では議長は評決に加われないので、円滑な議事のためには議長以外に最低3名(奇数)の理事が必要となりこれに備え1名追加する。

選任理事候補者

1. 福田 稔(現監事、選任後は監事辞任)
2. 西岡 孝幸(前日本ビジネス・インキュベーション協会監事)

選任監事候補

1. 秋田 耕二郎(税理士)

#### V 第4号議案 定款変更承認の件

認定付与団体としての社会的評価を確固たるものにするため、今期中に現在の一般社団法人から公益社団法人へ変更する。この変更申請に伴い現在の定款を変更する。

変更内容については、本議案承認後関係省庁と協議のうえ、公益社団認可要件を満たす定款策定の後に再度臨時社員総会を開催し承認を得ることとする。

補足説明(主要変更点)

(現会員は、公益社団法人に変更後、特別な手続きをすることなく定款により社員と見なされ、社員総会において議決権を行使することが可能となります。これにより現在の会員規定も関係省庁と協議の上再度改訂することになりますが、この件も臨時社員総会において承認を得ることになります。その他厳格な運用のための諸規定が追加されます。)

#### VI 第5号議案 電磁総会承認の件

公益社団法人の定めでは、会員は総て社員として議決権を持つことになり、今後の通常及び臨時総会の運用において、全国に及ぶ多数の社員による頻繁、迅速且つ合理的な議決のため、法の定める電磁的方式による会議が出来るよう承認を得るものである。